

タイムスタンプサービス iScign 利用に関わる注意事項

タイムスタンプサービス iScign は暗号技術を基盤とした仕組みのため、本サービスを利用するにあたり、下記事項についてご留意いただく必要がございます。

1. タイムスタンプの有効期間

弊社の運営する時刻認証局で発行するタイムスタンプの有効期間は、タイムスタンプを付与した時刻からタイムスタンプの署名に使用した TSA 証明書の有効期限までとなります。

TSA 証明書の有効期間は認証局の規定により最長 11 年 3 ヶ月となるため、時刻認証局はタイムスタンプの有効期間が 10 年を下回らない範囲で秘密鍵の交換を定期的に行います。

したがって、TSA 証明書の失効がなかった場合、タイムスタンプの有効期間は概ね 10 年から 11 年となります。

2. タイムスタンプの有効期間の短縮

弊社の運営する時刻認証局で発行するタイムスタンプは、デジタル庁・総務省・経済産業省より発表された最新の電子政府推奨暗号リストに掲載された暗号アルゴリズムを使用しており、タイムスタンプの有効期間は十分な安全性を保っていると推定されます。しかし、将来において、想定を超えた暗号解析技術の進歩や秘密鍵の漏洩等によってタイムスタンプの有効期間が短縮される可能性があります。

3. タイムスタンプ対象データの保存期間とタイムスタンプの再付与

タイムスタンプ対象データの保存期間がタイムスタンプ自体の有効期間を超える場合、対象データに付与されたタイムスタンプの有効性を維持するため、タイムスタンプの有効期間内に追加でタイムスタンプの再付与を行う必要があります。

4. 有効期間を超えたタイムスタンプの信頼性

「令和 3 年総務省告示第 146 号」に基づく総務大臣による時刻認証業務の認定制度は、有効期間を超えたタイムスタンプの信頼性を裏付けるものではありません。

以上